allcinema

鬼火(1963)

LE FEU FOLLET THE FIRE WITHIN [米]

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 108分

初公開日 1977/08/06

公開情報 フランス映画社

【キャッチコピー】

ヌーヴェル・ヴァーグの幻の名作 遂に日本初公開! 失なわれた陶酔の日々に別れを告げ 果しない孤独の渕へ 散ったアランーー

【解説】

この映画で、主演のM・ロネが体現する虚無を親しく思うティーンエイジャーがいたら、少し時期尚 早だと言おう。ただ、彼の歳に近づけば、なんらネガティヴな理由なく(アル中になって療養所から出 たばかりという負の要素も抱えてはいるが)、何もなすべきことがない(見つからない)という不安か ら死にゆこうとするブルジョワ青年の彼を、あながち贅沢だと否定もできないだろう。人間、30にも なれば人生が見えてきてしまう。そんな苦渋が、この、自殺志願者の最後の二日間を痛々しくスケッチ する作品には溢れていた。ラスト、拳銃と戯れながら、残りの人生の可能性を模索するかのように、ぼ んやり思案にくれる青年。しかし、解答はもう出ているのだ……。彼の魂の彷徨にぴったり寄り添うよ うに流れるエリック・サティの『ジムノペディ』が、ささやかに、しかし、雄弁にその心情を語ってい た。

【クレジット】

監督 ルイ・マル Louis Malle

Drieu La Rochelle 原作 ドリュ・ラ・ロシェル

脚本 ルイ・マル Louis Malle

撮影 ギスラン・クロケ Ghislain Cloquet

音楽 エリック・サティ Erik Satie

出演 モーリス・ロネ Maurice Ronet

> ベルナール・ノエル Bernard Noel ジャンヌ・モロー

Jeanne Moreau

アレクサンドラ・スチュワルト Alexandra Stewart